

第14回ファシリティマネジメント・シンポジウム

知的創造活動のための ワークスタイルとワークプレイスの試み

ーコミュニティデザインの切り口から

Studio-L 代表、京都造形芸術大学教授、山崎亮氏は人と人のつながりを重要視し、従来のハコ作りでないコミュニティ作りに成果を上げてきている。

氏は、人がつながるしくみ、「コミュニティデザイン」により、そこに参加する人々の動機付け、行動を促している。

先回の東京大学社会科学研究所、玄田有史教授の「希望学」に続き、「コミュニティデザイン」の視点は、将来に明るさの見えない現在の日本社会、そして日本人の働き方とその「場」（ワークスタイルとワークプレイス）のあり方について、示唆を与えてくれるものかもしれない。

山崎教授から「コミュニティデザイン」とその成果についてご講演を頂き、閉塞感が蔓延する今こそ考えるべき、「真に知的創造活動をサポートするワークスタイル、ワークプレイスとは何か？」を、事例研究とディスカッションを通して探る。

主催 : 日本建築学会 情報システム技術委員会 情報社会デザイン小委員会

後援 : 日本オフィス学会、日本ファシリティマネジメント協会、ニューオフィス推進協議会、
ビジネスプロセス革新協議会

日時 : 2012年4月17日(火) 13:30~18:00

会場 : 建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)

プログラム

総合司会 : 石曾根栄之 (FM システム)

■主旨説明	: 小鷹義和 (ソニーファシリティマネジメント (株))
■基調講演「コミュニティデザインの視点から」	: 山崎 亮 (スタジオL 京都造形芸術大学)
■主題解説	
1. 手作りオフィス、フリーレイアウトオフィス	: 山下郁美 (東京海上日動システムズ株式会社)
2. 新本社構築にこめた思想	: 豊田武史 (日本 HP (株))
3. 決めないオフィス、ゆるやかなオフィス	: 禿 (かむろ) 真哉 (トラフ建築設計事務所)
■パネルディスカッション	司会 : 本江正茂 (小委員会主査/東北大学)
■まとめ	: 沖塩荘一郎 (東京理科大学)

定員 : 100名 (申込み先着順)

参加費 : 会員 2,000円、登録メンバー・後援団体会員 2,500円、会員外 3,000円、
学生 1,500円 ※資料代含む

申込方法 : E-mail で「催し物名称、上記参加費種別および、所属団体名・会員番号 (本会会員の場合)、氏名、勤務先、電話番号、E-mail アドレス」を明記のうえお申し込みください。

※会員番号の記載がない場合は、会員外として取り扱わせていただきます。ご了承ください。

申込期限 : 2012年4月10日(火)

申込み・問合せ : 日本建築学会 事務局研究事業グループ 伏見 fushimi@ajj.or.jp

主旨説明

ワークプレイスの権威、フランクリン・ベッカー教授の言葉に、「仕事環境の統合的なシステムとして、慎重に計画管理されるワークプレイスは組織をより競争優位にする」というものがある。

当WGでは、ファシリティ、情報技術、経営政策の面から、より生産性の高いワークプレイスをここ20年以上一貫して考えてきている。

今回、以下の多才な方々をお招きし、知的生産性に寄与するワークプレイスのありかたに関する講演、ディスカッションを行う。その中で、ぜひ一筋の光明を見つけていきたいと考えている。

以下、講演者の方々の簡単なご紹介である。

山崎 亮氏

去年10月、たまたま点けたNHKクローズアップ現代で、山崎氏と「コミュニティデザイン」を知った。氏の考え方はオフィス作りと共通する部分がかかなり多いことに気づき、共感を持った。ぶしつけながらも、今回、基調講演をお願いする運びとなった次第である。

山下郁美氏

東京海上日動システムズでは、合併後の求心力を求めべく、社長が「世界一と誇れるPJ」を募集したと聞く。その中で、「世界一のオフィスを作ります」という提案を出した有志があったとのことである。その、世界一のオフィスを提案、推進したメンバーのおひとりが山下さんである。

豊田武史氏

日本HPは、まだフリーアドレスとか、コミュニケーションゾーン等という言葉が人々に知られる前から、そういったものも導入し、オフィスの効率や機能を真剣に考えてきた企業の一つである。

今回の新オフィスは、リーマンショック後の数々の逆風の中、HPといえども相当シビアな投資案件であったと聞く。

そのような中、氏が中心となって、どうやってそのポリシーを貫いていったか、聴きどころと考える。

禿（かむろ）真哉氏

世にオフィスビルを設計する建築家は星の数ほどいらっしゃるが、オフィスを設計する建築家はそう多くはない。建築家にとって、オフィスとは魅力のないものなのであろうか？

ダノンウォーターズ、ワントゥーテンデザイン、カヤック、小山薫堂オフィス等、最近ユニークなオフィスを次々設計している、気鋭の建築家ユニット「トラフ」に、彼らの流儀を伺う。

日本建築学会 アジア・パシフィック・シンポジウム

知的創造活動のための ワークショップとワークショップの試みー4

ーコミュニティデザインの切り口からー

ープログラムー

司会 石曾根 栄之 (株)FMシステム

(1) 主旨説明

小嶋 義和 (株)フューチャリティ・パシフィック・ト(株)
当小委員会フューチャリティ・デザイン&パシフィック・FMG主催

(2) 基調講演

コミュニティデザインの視点から
山崎 亮 Studio-L
京都造形芸術大学

(3) 主題解説

1. 手作りオフィス、フリーレインゲイトオフィス
山下郁美 東京海上日動システムズ(株)
2. 新本社構築にこめた思想
豊田武史 日本HP(株)
3. 決めないオフィス、ゆるやかなオフィス
亮(かむろ)真哉 トラフ建築設計事務所

(4) パネルディスカッション

- コーディネーター 本江 正茂 東北大学
- (5) まとめ
仲塩 莊一郎 東京理科大学

※注：演題は当日までに変更の可能性がります。

「コミュニティデザイン」の第一人者、山崎亮氏をお迎えし、閉塞感が蔓延する今こそ考えるべき、「真に知的創造活動をサポートするワークショップ、ワークショップとは何か？」を事例研究とディスカッションを通して探る。

日時:2012年4月17日 (火) 13:30~18:00

会場:建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

定員:100名

参加費:日本建築学会会員 2000円、登録メンバー 2500円、後援団体会員 2500円
会員外 3000円、学生 1500円 (※資料代含む)

申し込み先 日本建築学会 研究事業G 伏見 (fushimi@aij.or.jp)

申込方法

E-mailにて「催し物名称、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号、メールアドレス」を明記の上お申し込みください。

催し物名称：FMシンポジウム「知的創造活動のためのワークショップとワークショップの試みー4」

＜主催＞ (社)日本建築学会 情報システム技術委員会 情報社会デザイン小委員会

＜後援＞ (社)日本フューチャリティ・パシフィック・ト協会、(社)ニューオフィス推進協議会、
日本オフィス学会、ビジネスプロセス革新協議会